

年間授業計画

東京都立東高等学校 令和7年度 年間授業計画 （ 1学年 ）

教科 : 芸術科 科目 : 美術 I

対象学年組 : 1年 1 ～6組

教科担当者 : 人見崇子、大橋克己

使用教科書 : 美術 1 光村図書

教科の目標 :

- 【知識および技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための基礎的な技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを味わうことができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を想像していく姿勢の基礎を養い、豊かな情操を培う。

科目の目標

【知識および技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的な画材を生かした技術の向上を目指す。	基本的な表現方法を理解し、課題に沿った表現を判断、思考する力を養うことを目指す。	基本的な美的感覚を養い、意欲的に取り組む姿勢を目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価基準	①知	②思	③態	配当時間
			絵・彫	デ	映						
1 学期	年間スケジュール・画材確認 基礎的な色彩表現を学ぶ。 平面構成の意味や手法について理解する。 着彩技術を理解し、表現力を高める。	年間カリキュラム・鑑賞 デザイン 「文字を使った平面構成」		○		○	①基礎的な色彩表現、平面構成の課題内容の把握、着彩技術の習得はできたか。 ②アイデアを思案し、レタリング文字の配置や文字の太さ、強弱は理解されて構成して表現できたか。 ③図案の工夫がされており、集中して取り組めたか。	○	○	○	18
	基礎的な鉛筆の使い方の習得。 構図の決め方・かたちの取り方や効果を学ぶ。 作例を鑑賞して、手法を理解し、空間や質感の表現を高める。	絵画 「デッサンをしよう」	○			○	①基本的な鉛筆の使い方、削り方を理解できたか。立体的な描写技術を習得できたか。淡彩着彩表現を理解し技術の向上はできたか。 ②構図を理解し、モチーフを生かした質感や表現を判断して取り組んだか。 ③全体のバランスを把握し、細密描写に意欲的に取り組んだか。	○	○	○	8
2 学期	着彩技術を習得し、観察による密度のある表現を目指す。 作例を通じて脊椎動物の特徴や構造を理解する。 正面図・側面図を作成し、プロポーションを理解する。 人体の動きによる間接の関係性、筋肉の連動性の理解を深める。 素材を理解しながら、完成までの計画的な制作スケジュールをたてる。	絵画・鑑賞 「ピンと果物を描く」 彫刻・鑑賞 「フィギアをつくろう」	○			○	①基礎的な人体の動き、構造の理解と研究はしていたか。脊椎動物の特徴や構造を理解して制作はしていたか。動作による関節の動きや筋肉のつき方を理解して肉付けできたか。平面図から立体把握の習得はできたか。素材の特徴を理解し制作技術を習得できたか。素材を生かした着彩をして、丁寧に取り組んだか。素材の保存や、道具類の技術を習得したか。 ②工夫がされており、アイデアを表現につながるように思考されているか。全体のバランスを掴み、修正などの技術を生かした制作表現はできたか。全体のバランスを考え、空間を生かした表現を試みているか。着彩での色表現は豊かであるか。	○	○	○	24
	細部の密度を高め、表現の向上を目指す。 着色・塗装の技術を習得し、素材への保存技術を理解する。 作例を鑑賞して、ことばから連想されるイメージを表現する。画材の性質を理解しながら豊かな表現を目指す。	画材研究・鑑賞 デザイン・絵画 「絵とことばのコラボレーション」	○	○	○	○	③完成までの時間とイメージ通りの立体化に取り組めたか。自主的に道具類の技術を用いて制作に取り組んだか。密度のある作品となるよう取り組んだか。	○	○	○	4

3 学 期	様々な画材を生かした表現、試作から制作まで意欲的に取り組むことを総括的に目指す。	デザイン・絵画 「絵とことばのコラボレーション」	○	○	○	○	①ことばの知識と意味を生かしたデザインはできたか。学習した技術は丁寧に制作され生かされたか。 ②画材研究の習得により、多様な表現方法で制作されていたか。紙素材を生かした表現はできたか。作例の応用はできたか。アイデアは豊富で工夫されているか。	○	○	○	12
	透視図法や紙質素材の特質や表現の幅を上げ、技術的な向上を目指す。 鑑賞による美的感覚の向上を目指す。	紙材研究・鑑賞・予備教材 「透視図法」・「ペーパーアート」					③積極的に課題を理解し、計画的に完成できたか。意欲的に課題に取り組めたか。	○	○	○	4
										合計	70